

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

水戸赤十字病院 広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48

TEL.029-221-5177(代表)

http://www.mito.jrc.or.jp

2024.11
Vol.48

虹の由来／架け橋となるような広報誌を目指します

虹



令和6年夏、当院の創立101周年を記念し、グラフィックデザイナーの藤代 範雄 氏から、ガラス作品を寄贈いただきました。そして9月25日(水)、当院の本館1階ロビーにて、藤代氏をお招きし、寄贈されたガラス作品の設置式が執り行われました。

左:藤代氏 右:野澤院長

P1-2: ガラス作品「命の輝き」寄贈、茨城肺癌研究会学術集会開催

P3: 日赤医学会総会で職員10名が発表

P4: 情報セキュリティ研修実施、日本赤十字社診療放射線技師会東部ブロック研修会開催



HP



Instagram



Facebook

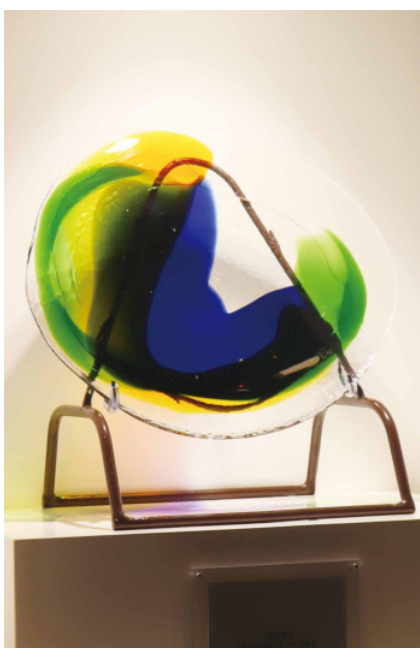
創立101周年記念 ガラス作品「命の輝き」が寄贈されました



グラフィックデザイナー 藤代 範雄 氏

ニューヨークアートディレクターズクラブ会員。
フランスルーブル宮バリ装飾芸術美術館への作品永久収蔵「テロと報復」
日光東照宮徳川家康公御生誕480年記念「東照宮美術展覧会」宮司賞受賞など
国内外で積極的に活動を展開し、高い評価を得ている。
なめがた大使も務める。
2016年、ガラス作品の創作を開始し、他に類を見ない迫力をもつ
作品を作り出している。

◀藤代氏と昨年寄贈いただいたガラス作品「宇宙に羽ばたく赤十字」(現在、院長室に保管)



▲ガラス作品「命の輝き」

国内外で活躍されている藤代氏には、昨年、創立100周年記念として、ガラス作品「宇宙に羽ばたく赤十字」を寄贈いただきました。

そして今年、新たに寄贈いただいたガラス作品「命の輝き」は、鮮やかな色彩と躍動感に溢れたハートにより、心と脈打つ心臓、エネルギーが表現された、美しく力強い作品です。

そこには藤代氏から作品を見た方への、「一人一人が元気になればいい」という強く温かな想いが込められています。

設置式で野澤院長は、「患者さまや来院される全ての方に、是非間近で作品をご覧ください、作品の持つエネルギーに触れ、勇気や未来を感じていただきたい」と想いを語りました。

作品は、本館1階の再来受付機横に展示されています。当院へお越しの際は、是非ご覧ください。

第51回 茨城肺癌研究会学術集会在開催されました

令和6年10月12日(土)、当院において第51回茨城肺癌研究会学術集会在開催されました。開催は参加病院の持ち回りとなっており、今年は当院の富岡副院長兼呼吸器内科部長が当番幹事を務めました。

当院からは、岩崎 晴信研修医が、「非小細胞肺がんの免疫チェックポイント阻害剤での治療経過中に原因不明の発熱を呈し血球貪食症候群が疑われた1例」を発表しました。

約30名の医師が参加し、肺がん治療において、さらに質の高い医療を実践すべく、多くの意見が交わされました。



▲当番幹事を務める富岡副院長兼呼吸器内科部長

第60回 日本赤十字社医学会総会で10名の職員が発表しました

日本赤十字社医学会総会は、日本赤十字社が主催する医学会議で、医療従事者や研究者が最新の医療技術や研究などの成果を共有する場です。今年の第60回総会は、10月17日から18日にかけて仙台国際センターで開催され、2日間で2,000人以上が来場しました。

当院からは、口演7名、ポスター2名、フォーラム1名の計10名が、日頃の成果を発表しました。

口演

車番チケットレスシステムによる
駐車ゲートの発展的更新について

事務部 財務課 深谷 将之



口演

看護主任の教育・育成への
取り組み

看護部 加司山 良子



口演

保守契約管理業務の効率化に向けて
-医療機器保守契約管理ツールの導入-

事務部 調度管財室 澤幡 界利



口演

プロスポーツチーム実務研修派遣を経て
～「茨城ロボッツ」トレーナー活動～

リハビリテーション科 吉沢 隆弘



口演

障害者雇用推進の取組みと
業務改善について

事務部 秘書広報室 荒川 奈穂美



ポスター発表

新型コロナウイルス5類移行後の
面会制限緩和

看護部 坂本 明子



口演

回腸末端部の高度狭搾による
腸閉塞患者へのNST介入した一例

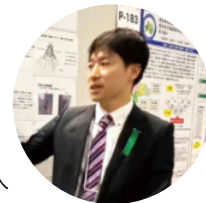
医療技術部 栄養課 平松 富都志



ポスター発表

水戸赤十字病院におけるジースタ
ポディーボッドの運用と薬剤師の関わり

薬剤部 小澤 勇人



口演

X線撮影措置における管球交換時の
不変性試験の実施

放射線科 小池 里奈



ソーシャルワーカーフォーラム

災害時におけるソーシャルワーカーが
できる役割は何か？

医療社会事業部 医療福祉相談課 鈴木 浩章



【加司山看護副部長コメント】

多くの方と交流することで、最新の業務成果や知識を直接学ぶことができました。これにより、自分の業務に対する新たな視点やアイデアを得ることができ、大変貴重な経験となりました。

当院は職員教育に力を入れ、全職員のスキル向上を重視しています。研修や学会などを通じて最新の知識と技術を習得し、医療や業務の質を高めることを目指しています。これからも職員一人ひとりの成長を促し、地域医療に貢献していきます。

情報セキュリティ研修を実施しました

令和6年11月6日(水)、当院で、茨城県警察本部の協力のもと、情報セキュリティ研修を実施しました。

今回は、ランサムウェアへの対策を中心に、フィッシングメールの特徴や見分け方、被害防止策などについて講義がありました。実際にあった他病院の被害事例をもとに、講師がデモンストレーションを交えながら、感染について具体的に説明し、研修後、参加者からは「非常に理解しやすく、有益な内容だった」「病院職員として興味深い内容であるとともに、改めてサイバー攻撃の脅威と、安全対策の必要性を認識した」などの声が寄せられました。今後も定期的にこのような研修を行い、情報セキュリティの意識向上を図っていきます。

日本赤十字社診療放射線技師会 第34回東部ブロック研修会が開催されました

令和6年11月9日(土)、10(日)の2日間に渡り、日本赤十字社診療放射線技師会 第34回東部ブロック研修会(大会長:野澤放射線技術第一課長)が開催されました。当院の持ち回りとなった本研修会には、80名もの放射線技師及び医療技術者が参加し、当院からは1講演と2演題が発表されました。

「絆」をテーマとした本研修会では、計18病院が、災害時における放射線技師の役割や、人材教育の重要性などについて学ぶとともに、技術向上のための情報交換や課題の共有など、盛んな意見交流が行われ、放射線治療の更なる充実に向けた、非常に有意義な機会となりました。



▲当院の放射線科職員

当院のラジオ番組 放送中です!!

“水戸赤十字病院の今日もおだいじに”
LuckyFM茨城放送 毎週金曜日11:20から



《 12月の放送予定 》

放送日	12月6日	12月13日	12月20日	12月27日
テーマ	花粉症	高齢者の誤嚥について	白内障・緑内障 飛蚊症	腰痛
出演	薬剤師	看護師	眼科医	理学療法士

「水戸日赤でお産」という選択肢

産婦人科医と経験豊富な助産師たちが、妊婦さんを一丸となってケアします。
ハイリスクでないかたも、
里帰り分娩のかたも、
当院でのお産を歓迎します。



1分アンケートに
ご協力お願いします!

こちらのQRコードを読み取ってご回答いただけます。
病院広報誌「虹」をより良くするために、皆さまのお声をお聞かせください。